



本事業は、SDG s の「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 5 月 13 日（火）

愛知県アジア・アジアパラ競技大会推進局
企画調整課啓発グループ

担当 齋藤、古溝

内線 4615、5476

ダイヤルイン 052-954-7410

知事の中東渡航中の行事結果について

2025 年 5 月 12 日（月）午後、知事はアラブ首長国連邦（UAE）・ドバイにおいて、障害者スポーツ施設を訪問しました。その後、2026 年に愛知・名古屋で開催する第 5 回アジアパラ競技大会の主催者であるアジアパラリンピック委員会（APC）の本部を訪問しマジッド・ラシッド会長と面談しました。

その後、2022 年に開館した ミュージアム オブ ザ フューチャー Museum of the Future（未来博物館）を訪問しました。

1 障害者スポーツ施設訪問

（1）日時

2025 年 5 月 12 日（月）正午から午後 2 時まで

（日本時間 5 月 12 日（月）午後 5 時から午後 7 時まで）

（2）場所

ドバイ クラブ フォー ピープル オブ デターミネーション

Dubai Club for People of Determination（決意の人々のためのドバイクラブ）

（3）応対者

ドバイクラブ

会長 タニ・ジュマ・ベレグラッド氏

アジアパラリンピック委員会（APC） 会長 マジッド・ラシッド氏

企業関係部長 エイサ・ムハシャブ・アルーアリ氏

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

いまにしじゅん

今西淳駐ドバイ日本国総領事

（5）内容

大村知事は、アジアパラリンピック委員会（APC）本部に隣接する障害者スポーツ施設「Dubai Club for People of Determination」（決意の人々のためのドバイクラブ、以下「ドバイクラブ」という。）を訪問しました。

はじめにベレグラッド会長から、「ドバイクラブは障害者の身体的、精神的なりハビリテーションを目的に 1993 年に設立され、2009 年以来、国際的な障害者スポーツ大会の会場としても利用されている。施設はスポーツだけでなく、障害者の社会的・文化的な活動の場として提供している。ドバイだけでなく、近隣首長国の方々もメンバーになっている。」と説明がありました。

大村知事は、「APC の皆さんには愛知・名古屋 2026 大会の開催に向けご協力をいた

だき感謝を申し上げる。また、本日は施設をご案内いただき大変ありがたく思う。今回の視察を通じ大会を成功させ、成果をレガシーとして残していきたい。」と述べました。その後、ドバイクラブ会長及びAPC 会長により施設を案内されました。

＜ドバイクラブ概要＞

- (1) 所在地 アラブ首長国連邦 ドバイ
- (2) 設立 1993 年
- (3) 代表者 タニ・ジュマ・ベレグラッド会長
- (4) 概要 障害者の身体的、精神的なリハビリテーションを目的に設立。
国際的な障害者スポーツ大会の会場としても利用されている。
陸上競技場の他、体育館やメディカルセンターなど、パラアスリート向けのトレーニング施設が整備されている。



施設の概要説明の様子



ボッチャの体験



視察の様子（パワーリフティング）



視察の様子（最新機器の説明）



卓球の体験



トレーニング中のアスリートの激励



記念撮影

ベレグラッド会長（後列右から3番目）
ラシッド会長（前列右から1番目）
今西総領事（後列右から4番目）



記念品の交換

2 アジアパラリンピック委員会（APC）会長との面談

（1）日時

2025年5月12日（月）午後2時から午後2時20分まで

（日本時間5月12日（月）午後7時から午後7時20分まで）

（2）場所

アジアパラリンピック委員会（APC） 本部

（3）応対者

アジアパラリンピック委員会（APC） 会長 マジッド・ラシッド氏

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

今西淳駐ドバイ日本国総領事

（5）内容

大村知事は、アジアパラリンピック委員会（APC）本部においてラシッド会長と面談を行いました。

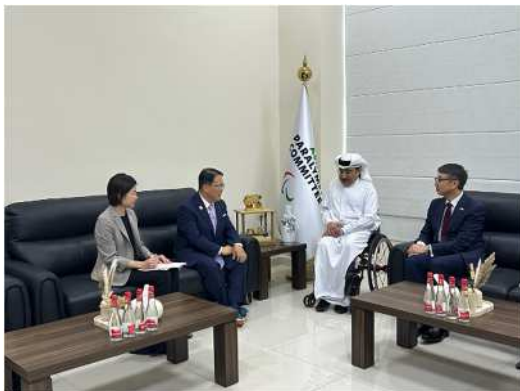
ラシッド会長からは5月19日（月）、20日（火）に愛知・名古屋で開催するアジアパラ競技大会の第3回調整委員会について、「愛知・名古屋2026大会の成功には、APCと開催都市が信頼関係を築いて共に努力していくことが必要である。来週、愛知・名古

屋でお会いし、大会の進捗を議論できることを楽しみにしている。」との発言がありました。

これに対して大村知事は、「愛知・名古屋大会の開催まで、あと 500 日程となり、更なる機運醸成を図っていきたい。また、アジアパラ競技大会の開催は、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献する重要な社会的意義があることから、しっかりと準備を進め、その成果をレガシーとして残していく。2026 年の愛知・名古屋大会への一層のお力添えをお願いする。」と述べました。

<アジアパラリンピック委員会（APC）概要>

- (1) 所在地 アラブ首長国連邦 ドバイ
- (2) 設立年 2002 年
- (3) 代表者 マジッド・ラシッド会長
- (4) 概要 「パラスポーツを通じてインクルーシブなアジアを創ろう。」をビジョンに掲げ、アジアパラ競技大会を主催する組織。



面談の様子



本部内の展示物の説明（過去大会のメダル）



訪問記念の署名



記念品の交換

3 Museum of the Future（未来博物館）訪問

（１）日時

2025 年 5 月 12 日（月）午後 5 時から午後 6 時 45 分まで

（日本時間 5 月 12 日（月）午後 10 時から午後 11 時 45 分まで）

（２）場所

Museum of the Future（未来博物館）

（３）応対者

未来博物館 ヘッド・オブ・プログラミング マイサ・アルマズロエイ氏

プロトコル・オフィサー アイシャ・アルバハール氏

ドバイ警察観光警察局 一等中尉 アリ・ヨシフ・アルバンナ氏

一等軍曹 ジャセム・ラシッド氏

アジアパラリンピック委員会（APC） 会長 マジッド・ラシッド氏

企業関係部長 エイサ・ムハシャブ・アルーアリ氏

（４）愛知県側出席者

大村秀章知事

（５）内容

大村知事は、アジアパラリンピック委員会（APC）ラシッド会長からの勧めで、2022 年に開館した Museum of the Future（以下「未来博物館」という。）を訪問しました。

はじめに、館外でドバイ警察観光警察局から最新の警察車両のデモンストレーションがありました。

その後、未来博物館のアルマズロエイ氏とアルバハール氏の案内により館内を視察しました。アルバハール氏から「未来博物館は UAE 建国 100 周年にあたる 2071 年の未来へタイムスリップし、『宇宙旅行』や『気候変動』『生物多様性』『ウェルビーイング』『スマートシティ』などのテーマに沿った未来を体感することができる施設である。」との説明がありました。

館内は光と映像を駆使しており、また AI との会話を体験できる展示があるなど、近未来を感じさせる空間でした。

< 未来博物館概要 >

（１）所在地 アラブ首長国連邦 ドバイ

（２）設立年 2022 年

（３）代表者 ドバイ未来財団 カルファン・ベルフル CEO

（４）概要 2071 年の未来へタイムスリップし、「宇宙旅行」や「気候変動」「生物多様性」「ウェルビーイング」「スマートシティ」などのテーマに沿った未来を体感することができる施設。



警察車両と記念撮影

ラシッド一等軍曹（左から1番目）
 アルバンナー等中尉（左から2番目）
 ラシッド会長（右から2番目）
 アルーアリ氏（右から1番目）



未来博物館での記念撮影

アルバハール氏（左から1番目）
 アルマズロエイ氏（左から2番目）
 ラシッド会長（右から1番目）



視察の様子①



視察の様子②